

久我東町遺跡（第3次）発掘調査現地説明会資料

昭和61年9月21日

財団法人京都市埋蔵文化財研究所

- 1 調査地 京都市伏見区久我東町
- 2 調査期間 昭和61年4月15日～
- 3 調査面積 約5,000㎡
- 4 調査機関 財団法人京都市埋蔵文化財研究所
- 5 調査経過

(1) 第1次調査

調査期間 昭和57年4月15日～9月30日

調査面積 約4,500㎡

概要 調査対象地の西端部に長岡京跡が含まれることからこの部分の調査と、他の地域の遺跡確認調査を実施した。その結果、長岡京跡については中世の湿地状堆積を確認するにとどまったが、敷地東端部で平安時代後期及び室町時代の遺跡を発見した。（久我東町遺跡と名付ける。）

(2) 第2次調査

調査期間 昭和59年7月19日～10月3日

調査面積 約3,000㎡

概要 第1次調査で確認した平安時代後期の遺跡を含めた地域で調査を実施した。その結果、平安時代後期の建物・井戸・石敷溝・木棺墓を検出し、その南方で室町時代の東西に走る大溝2本・建物・井戸・土器溜・墓地等を発見した。

(3) 第3次調査（今回調査地）

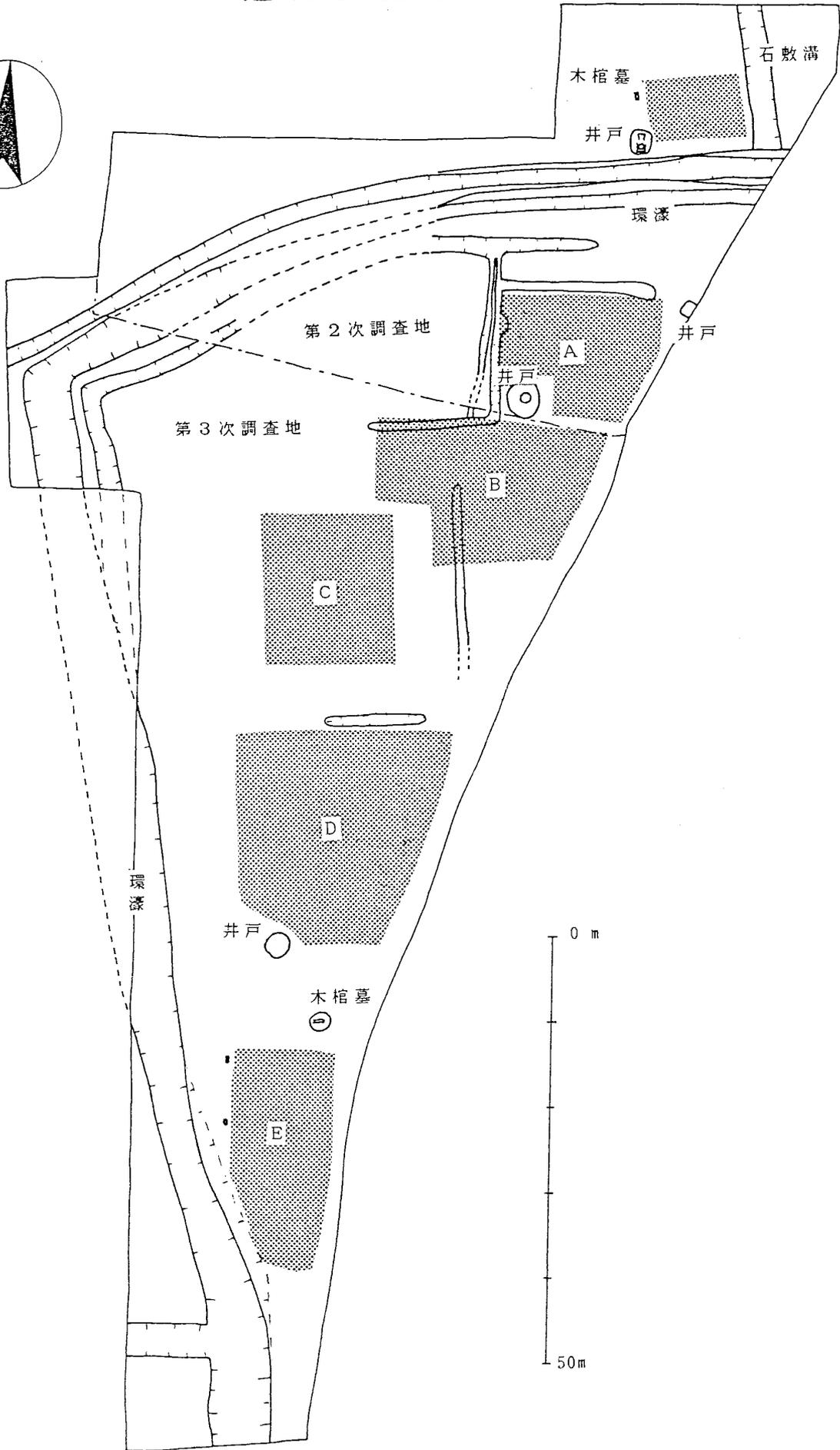
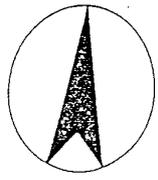
概要 第2次調査地の南側で第1次調査で確認した室町時代の遺跡を含めた地域を調査した。その結果、室町時代初め頃から中頃まで続い

たと思われる建物・井戸・土器溜・溝・大溝を発見した。大溝は、第2次調査で発見した大溝とつながることがわかった。

6 調査成果

- (1) 久我東町遺跡は室町時代初め頃に築かれた環濠集落である。
- (2) 環濠は少なくとも3回の造り替えが行われている。このうち北濠（全長80mを確認）と西濠（全長130mを確認）及び直角に折れ曲がるコーナー部を発見した。濠はさらに東及び南に延びる。
- (3) 濠で囲まれる部分でおよそ5軒の建物群を確認した。このうち最北に位置する建物群跡は、この集落の終わり頃墓地となった。
- (4) 各々の建物群は、数回の建て替えが行われている。これは主に中心部の高所に顕著にみられた。
- (5) 建物群跡には大量投棄された土器類が数個所で発見された。
- (6) この集落ができる以前の平安時代後期の建物群を一部で発見した。また集落が廃絶したのち16世紀前半（戦国時代初め頃）の火葬墓が6基発見された。
- (7) 出土遺物では、平安時代後期・室町時代前半のものが多量に出土した。土師器・瓦器が非常に多く、国産陶器・輸入陶磁器も少量出土している。その他に、銅製品（銭貨）・鉄製品（釘・刀子・鋤先）などが出土している。

遺構配置図



昭和61年 9月12日

関係各位

京都市上京区今出川通大宮東入
元伊佐町265番地の1 ☎415-0521

財団法人京都市埋蔵文化財研究所

所長 杉山信三

久我東町遺跡発掘調査現地説明会の御案内

爽秋の候 皆様にはますます御清祥のこととおよろこび申し上げます。平素は当研究所の事業につきまして御指導御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当研究所が本年4月から実施してまいりました久我東町遺跡発掘調査の現地説明会と遺物展示会を下記のとおり行います。室町時代の環濠集落跡を検出しておりますので御多用とは存じますがお誘い合わせのうえお越し下さいますよう御案内申し上げます。

記

日時 昭和61年9月21日(日) 現地説明会 午後2時から(小雨決行)

遺物展示会 午後1時～午後4時

場所 京都市伏見区久我東町 現地事務所(☎922-0563)

京阪中書島発 市バス22久我操車場行 下久我下車 南へ徒歩10分

阪急長岡天神発 阪急バス57免許試験場前行 樋爪口下車 北へ徒歩13分

